

こんにちは、 日本共産党井上けんじです



日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
 日本共産党京都市議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130
 市議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2021年8月29日



こくた恵二衆院議員の事務所開き

20日、こくた恵二日本共産党衆院議員の事務所開きが行われました。スガ政権に代わり、国民の命と健康、暮らしを守る政治を創ろうと呼びかけられました。事務所は九条通り新千本東入る北側、☎693-7770です。

弘法さんでも宣伝

21日も、弘法さんで宣伝。井上議員から市政リストラ撤回をと訴えました。



の反省と総括がなく、「市民と危機を共有」などと責任転嫁。
 ②特に、市内高速道路に6〜7百億円もムダ遣いしてきたことへの反省がない。
 ③貯金について、いくつかの返済が必要なのかの説明がない。
 ④支出を減らすとして福祉をやり玉に挙げる一方で、莫大な支出が危惧される「北陸新幹線」や「油小路通り地下トンネル計画」を推進しようとしている。
 ⑤収入を増やすと云いながら、その収入源である国に対しては、ほとんど何も要求せず。
 ⑥この点について言えば、私は次のような提案をしています。
 ・国の、大企業優遇の法人税大幅減税が、市の法人市民税大幅減収の原因になっており、国に、法人税減税をやるように求めること。
 ・国から市への「地方交付税交付金」が大幅に減らされており、こ

●福祉を守る為に財源を考えるのが市長の仕事です。福祉切捨ては、実はこれが目的で「危機」は口実なのかと思ってしまうですね。

⑧以上、④〜⑦のような問題を問にしなから「財政危機」を強調する市民しんぶんは、偏った情報提供という意味で間違っています。「危機」打開への本気度が問われますね。本当に「危機」ですか。福祉を守る為に財源を考えるのが市長の仕事です。福祉切捨ては、実はこれが目的で「危機」は口実なのかと思ってしまうですね。

「市民しんぶん」9月1日号が、またそろ、「財政危機」をおおっています。今年の初め以来、折々、「お金がない」の連発で、もうウンザリです。井上議員に聞きました。

「『ついに』『改革計画』ができた」と書かれています。●「9千件もの真剣なご意見が寄せられた。それら一つ一つに真剣

●要するに、収入より支出が多く、その穴埋めに、借金返済の為に貯金を取り崩してきた。その貯金が減ったら返済できなくなって大変だ。だから福祉を削り市民負担を増やして収支均衡、取崩しをやめると言いたいんだと思えます。

「ついに『改革計画』ができた」と書かれています。●「9千件もの真剣なご意見が寄せられた。それら一つ一つに真剣

●要するに、収入より支出が多く、その穴埋めに、借金返済の為に貯金を取り崩してきた。その貯金が減ったら返済できなくなって大変だ。だから福祉を削り市民負担を増やして収支均衡、取崩しをやめると言いたいんだと思えます。

●要するに、収入より支出が多く、その穴埋めに、借金返済の為に貯金を取り崩してきた。その貯金が減ったら返済できなくなって大変だ。だから福祉を削り市民負担を増やして収支均衡、取崩しをやめると言いたいんだと思えます。

間違った情報の発信はやめよ 「懲りない」「市民しんぶん」を斬る

の増額をもっと熱心に求めること。
 しかし市長は、「国の財政も大変だ」などと言って、軍事費拡大や大企業減税を容認、国言いなりの現状です。
 ⑦市民税についても、私は「高所得者の税率を以前のよう高くすれば増収が得られる」と提案していますが、これも市長は無視しています。



南区文化フォーラムを鑑賞(7月30日)